# 窪田 望

1984 年 米国ニューヨーク生まれ
東京を拠点に活動
ウェブサイト: nozomukubota.com/en/

窪田望は、映像、インスタレーション、ドローイング、機械学習を横断して制作するアーティスト。AI システムや社会規範が身体、声、経験をいかに分類し、あるものを可視化する一方で、別のものを外れ値として排除するのかを探究する。NSFW フィルター、音声認識、方言、身体の差異を扱う作品を通じて、誰が「正常」を定義し、技術的進歩の追求のなかで何が失われるのかを問いかける。AI エンジニアとしての経験を踏まえ、自らの前提や、こうした過程への自身の関与も検証している。

**学歴**
2026　東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻 修士課程修了
2006　慶應義塾大学総合政策学部 卒業

**主な受賞歴**
2026　Prix Ars Electronica、Digital Humanity 部門 Honorary Mention（栄誉賞）（オーストリア）
2026　Nashville International Cinema Awards 最優秀監督賞（米国）
2026　WorldFest-Houston 国際映画祭 短編ドキュメンタリー部門 Silver Remi Award（銀賞）（米国）
2025　第 14 回デリー国際短編映画祭 最優秀ドキュメンタリー賞（インド）
2025　CENRETA Art Award グランプリ（タイ）

**主な展覧会**
2026　「AI for All」、東京大学駒場博物館（東京、日本／開催予定）
2026　あきがわアートストリーム（東京・檜原村、日本／開催予定）
2026　「私たちは何度でも出会い直すことができる」、東京藝術大学油画ギャラリー（東京、日本／開催予定）
2026　東京藝術大学卒業・修了作品展（東京、日本）
2026　Gundarake Project、Hinahodoki（香川、日本）
2025　「Inside Dementia」、東京ビエンナーレ 2025（東京、日本）
2025　「Hand Sketch, Pencil Drawing」、Creative Hub “es”（東京、日本）
2024　「バイナリ化する幽玄」、羽田イノベーションシティ（東京、日本）
2024　「ECHOES OF UNSEEN」、東京藝術大学中央棟（東京、日本）
2024　Art Week Asia 2024、個人邸宅（ティオン・バル、シンガポール）
2024　「RHODA」、コートヤード HIROO（東京、日本）
2023　「Margins of AI」、BAG – Brillia Art Gallery（東京、日本）
2023　「Born and Disappear, Disappear and Born」、羽田イノベーションシティ（東京、日本）
2023　「断片的な日常」、アイルしながわ（東京、日本）
2023　「Who is Who Exhibition」、銀座資生堂パーラー（東京、日本）

**主な学会発表と作品採択**
2026　NeurIPS 2026、Creative AI Track（シドニー、オーストラリア）。《AI’s Silent Omissions: Redistributing Bodily Agency》作品採択（発表予定）
2026　カルチュラルタイフーン 2026、昭和女子大学（東京、日本）。《AI’s Silent Omissions》プロジェクトワーク採択（発表予定）
2026　Expanded 2026 – Conference on Animation and Interactive Art、Ars Electronica Center（リンツ、オーストリア）。「Production of Absence: Reading Stable Diffusion’s NSFW Filter through Code and Typology」（査読付き Art Paper 発表）

**主な上映と映画祭選出**
2026　第 17 回前橋映像祭、re/noma（前橋、日本／上映予定）
2026　新北市立美術館（新北市、台湾／上映予定）
2026　アルスエレクトロニカ・フェスティバル 2026、JKU medSPACE、JKU MED Campus（リンツ、オーストリア）
2026　ロンドン Lift-Off 映画祭、Genesis Cinema（ロンドン、英国）
2026　ルレオ国際映画祭、Folkets Bio Royal（ルレオ、スウェーデン）
2026　ベルリン・インディ映画祭（ドイツ）
2026　第 10 回 Indian World Film Festival、Hotel Best Western Ashoka（インド）
2025　CENRETA Art Award 2025、Central Chidlom（バンコク、タイ）
2025　第 14 回デリー国際短編映画祭、Tivoli Grand Resort Hotel（ニューデリー、インド）
2025　ゴールデンゲート国際映画祭、AMC Saratoga 14（サンノゼ、米国）
2025　International Film Arts and Hearts Film Festival、Regal L.A. LIVE（ロサンゼルス、米国）
2025　ICP Entertainment Film Festival、Producers Club Theater（ニューヨーク、米国）
2025　東京ドキュメンタリー映画祭、K’s cinema（東京、日本）
2025　Canada Shorts、The Cinematheque（カナダ）

**査読付き論文**
2026　Kubota, Nozomu. “Production of Absence: Reading Stable Diffusion’s NSFW Filter through Code and Typology.” Proceedings of the Conference on Animation and Interactive Art (Expanded 2026). ACM Digital Library. doi:10.1145/3840416.3840454.

**学会発表論文**
2024　窪田望「西川町方言理解 AI の開発と評価：音声データベースと Word Mover's Distance を用いたアプローチ」『デジタルアーカイブ学会誌』8 巻 s2 号、s79–s82 頁（第 9 回研究大会予稿）。東京大学本郷キャンパス（東京、日本）にて発表。doi:10.24506/jsda.8.s2_s79.

**主な講演と公開プログラム**
2026　「《AI が消し去る声》上映会と公開討論」を企画・主催、国際文化会館（東京、日本）。支援：グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
2026　タイランド・ビエンナーレでのレクチャー・パフォーマンスとディスカッション（プーケット、タイ）。Mirwan Andan（ruangrupa）、Di Liu、Jaroslava Tomanova と共演

**共同プロジェクト**
2025　ruangrupa メンバーの Mirwan Andan とのアーティスト訪問および共同プロジェクト（インドネシア）

**助成とアーティスト支援**
2026　瀬戸内分校地域振興プロジェクト「Gundarake」、東京藝術大学 × 香川大学（香川、日本）
2025　Tokyo Artist Accelerator Program（TAAP）、アーツカウンシル東京（日本）

**教職歴**
2025–現在　ビジネス・ブレークスルー大学（BBT 大学）客員教授（日本）
2021–現在　デジタルハリウッド大学大学院 特任准教授（日本）

**学術活動**
2026　AAAI/ACM Conference on AI, Ethics, and Society（AIES）査読者

**職歴**
2003–現在　株式会社 Creator’s NEXT 創業者・代表取締役（日本）

**主な特許**
日本国内の主な登録特許（発明者：窪田望）。

2021　特許第 6968475 号：IoT センサーを用いた敵対的攻撃への防御
2021　特許第 6971514 号：AI ハッキングに対する最適防御
2021　特許第 6942900 号：活性化関数に着目した隠れ層の最適化
2020　特許第 6774129 号：教師あり学習および教師なし学習における前処理、モデル、ハイパーパラメータの最適化
2020　特許第 6647543 号：リアルデータプラットフォームと心理的保全

上記を含め、日本、米国、中国、香港における計 20 件の AI 関連特許で発明者として登録されている。